

專門基礎分野

I 人体の構造と機能及び心身の発達

大項目	中項目	小項目
1 解剖学	A 総論	a 定義、分類
		b 発生等
	B 骨格系	a 骨の構造と分類
		b 骨吸収と骨形成
		c 関節の構造と分類
		d 各部の骨・関節
	C 筋系	a 筋の構造と形態
		b 各部の筋・腱・靭帯
	D 神経系	a 中枢神経系
		b 末梢神経系
	E 脈管系	a 心臓
		b 動脈系
		c 静脈系
d リンパ系		
F 内臓諸器官	a 消化器	
	b 呼吸器	
	c 泌尿器、生殖器	
	d 内分泌腺	
G 感覚器	a 視覚器、平衡聴覚器、皮膚受容器等	
H 体表解剖	a 動脈	
	b 神経	
	c 筋	
	d 骨	
	e 関節	
I 断層解剖	a 中枢神経系	
	b 筋、骨格、末梢神経系	
	c 内臓諸器官	
J 組織	a 細胞の構造と機能	
	b 細胞の分化（遺伝子、DNA等）	
2 生理学	A 総論	a 細胞生理
		b 再生医学の基礎
	B 筋	a 筋線維の構造と機能
		b 筋収縮
	C 神経	a 神経線維の構造
		b 興奮と伝導
		c シナプス伝達
		d 反射
		e 受容器－感覚神経伝達
		f 神経－筋接合部の伝達
g 中枢神経		
h 末梢神経		
i 可塑性		

I 人体の構造と機能及び心身の発達

大項目	中項目	小項目
2 生理学	D 感覚	a 体性感覚（表在感覚、深部感覚）
		b 内臓感覚
		c 視覚
		d 聴覚、平衡覚
		e 嗅覚、味覚
	E 発声、構音、言語	a 発声器官
		b 言語中枢
	F 運動	a 運動単位
		b 随意運動
		c 筋緊張
		d 運動における生体の生理的变化
	G 自律神経	a 交感神経系
		b 副交感神経系
	H 呼吸	a 呼吸運動（気道内圧、肺の容積変化を含む）
		b ガス交換とガスの運搬
		c 酸塩基平衡
		d 呼吸中枢
	I 循環（心臓の機能を 含む）	a 循環の調節（血液とリンパの循環）
		b 心筋の特性
c 心臓拍動の自動性と心拍出量		
d 心臓の刺激伝導系		
J 血液、免疫	a 血液の成分	
	b 血液の細胞成分の生成と分化	
	c 血液凝固と線溶現象	
	d 免疫機能	
K 咀嚼・嚥下、消化、 吸収	a 唾液分泌の機序	
	b 嚥下運動と嚥下反射中枢	
	c 胃内消化（胃液分泌、蠕動運動を含む）	
	d 腸内消化吸收	
	e 肝臓・胆嚢・膵臓の機能	
	f 消化酵素	
	g 栄養素と吸収部位	
L 排尿	a 尿の性状	
	b 糸球体・尿細管の機能	
	c 排尿機構（排尿中枢を含む）	
M 排便	a 胃大腸反射等	
N 内分泌、栄養、代謝 （生化学の基礎を含 む）	a ホルモンとビタミン	
	b 糖・蛋白・脂質代謝	
	c 代謝率（基礎・エネルギー代謝率を含む）	
O 体温調節	a 体温調節中枢	
	b 熱の産生と放出の機序	

I 人体の構造と機能及び心身の発達

大項目	中項目	小項目	
2 生理学	P 生殖	a 勃起、射精 b 排卵、月経、妊娠、出産	
	Q 老化		
3 運動学	A 総論	a 定義、目的 b 力学の基礎 c 運動器の構造と機能（機能解剖を含む） d 運動の中樞神経機構 e 運動とエネルギー代謝 f 運動と呼吸・循環	
	B 四肢と体幹の運動	a 顔面・頭部の運動 b 上肢帯と上肢の運動 c 下肢帯と下肢の運動 d 体幹の運動 e 呼吸運動	
	C 動作解析		
	D 姿勢		
	E 歩行		
	F 運動制御と運動学習		
	4 人間発達学	A 総論	a 定義、目的 b 発達理論 c 発達段階と発達課題 d 発達評価（改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査〈JDDST-R〉、遠城寺式乳幼児分析的発達検査、子どもの能力低下評価法〈PEDI〉等） e 運動発達（原始姿勢反射を含む） f 精神発達 g 心理・社会的発達
		B 各期における発達	a 小児期 b 青年期 c 成人期 d 老年期

II 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

大項目	中項目	小項目
1 医学概論	A 医学の基本	a 医学の歴史 b 生命倫理 c 医の倫理（患者の権利、医療者の義務）
	B 健康と疾病の概念	a 健康の定義 b 疾病の定義と分類
2 臨床医学総論	A 病理学概論	a 病因論（内因・外因を含む） b 病理学的変化（血行障害、進行性・退行性病変、炎症・感染・免疫・アレルギー、腫瘍・新生物、奇形・遺伝を含む） c 生体反応（ホメオスターシス、ストレス）
	B 疾病の診断と治療	a 問診、身体所見、記録 b 生化学検査 c 生理検査 d 画像検査 e 薬物療法 f 外科的治療
3 リハビリテーション医学	A 総論	a リハビリテーション医学の定義と歴史 b リハビリテーション医学の特徴
	B 健康と生活機能の評価	a 医学的情報（病理・生理・画像診断を含む）の評価 b 心身機能・身体構造の評価 c 活動の評価 d 参加の評価 e 背景因子（環境因子および個人因子）の評価
	C 機能障害の評価とリハビリテーション	a 運動障害（運動麻痺、筋力低下、持久力低下、筋萎縮、関節拘縮、運動失調、痙縮、固縮を含む） b 動作の障害 c 呼吸障害 d 循環障害 e 代謝・内分泌障害 f 発達障害 g 構音障害 h 視覚障害 i 聴覚障害 j 高次脳機能障害 k 疼痛 l 摂食・嚥下障害 m 排尿障害 n 排便障害 o 精神・心理障害

II 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

大項目	中項目	小項目	
3 リハビリテーション 医学	D 活動制限の評価とリ ハビリテーション	a 日常生活活動〈ADL〉の制限 b 生活関連活動〈IADL〉の制限	
	E 参加制約の評価とリ ハビリテーション		
	F リハビリテーション 計画	a リスク管理 b 機能的帰結の予測 c リハビリテーションプログラムの立案	
	G リハビリテーション 治療	a 理学療法 b 作業療法 c 言語聴覚療法 d 義肢・装具療法 e 運動学習 f 基本動作練習 g 応用動作練習 h バイオフィードバック療法 i 神経ブロック j 心理的アプローチ k リハビリテーション機器（杖、車椅子、座位保持装置、 環境制御装置を含む） l 摂食機能療法	
	H 廃用症候群	a 疫学 b 病理、病態、症候 c 評価、検査（画像、生理検査を含む） d リハビリテーション e その他の治療	
	4 臨床心理学	A 基礎理論	a 歴史 b 防衛機制と転移 c 学習、記憶、行動
		B 発達心理および臨床 心理	a 児童・青年期心理 b 成人・高齢者心理 c 患者・障害者心理
		C 臨床心理検査法	
		D 心理療法およびカウ ンセリング	

II 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

大項目	中項目	小項目
5 精神障害と臨床医学	A 疫学、予後	a 器質性精神障害（症状性を含む）
	B 病因、症候	b 精神作用物質使用による精神および行動の障害
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	c 統合失調症、統合失調症様障害および妄想性障害
		d 気分障害〈感情障害〉（躁うつ病、うつ病を含む）
	D リハビリテーション	e 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
		f 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群（摂食障害、非器質性睡眠障害を含む）
	E その他の治療（精神療法を含む）	g 成人のパーソナリティ〈人格〉及び行動の障害
		h 精神遅滞（知的障害）
		i 心理的発達の障害（広汎性発達障害、特異的発達障害を含む）
		j 小児期および青年期に通常発症する行動および情動の障害（注意欠如・多動性障害等）
		k てんかん
6 骨関節障害と臨床医学	A 疫学、予後	a 変形性関節症、人工関節置換術後
	B 病理、症候	b 骨折、脱臼、靭帯損傷
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	c 関節リウマチとその近縁疾患
		d スポーツ外傷
	D リハビリテーション	e 脊椎疾患（椎間板ヘルニア、脊椎症を含む）
		f 腰痛症
	E その他の治療	g 切断（先天奇形を含む）
		h 肩関節疾患（肩関節周囲炎、腱板損傷を含む）
		i 骨粗鬆症
		j 骨壊死性疾患（大腿骨頭壊死を含む）
		k 先天異常、系統疾患（骨端症を含む）
	l 骨軟部腫瘍	
	m 熱傷	
7 慢性疼痛と臨床医学	A 疫学、予後	a 慢性腰痛
	B 病理、症候	b CRPS 〈complex regional pain syndrome〉
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	c 肩手症候群
		d 視床痛
		e 幻肢痛
	D リハビリテーション	f その他（帯状疱疹、三叉神経痛等）
E その他の治療		

II 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

大項目	中項目	小項目
8 中枢神経の障害と臨床医学	A 疫学、予後	a 血管障害（頭蓋内出血、脳梗塞を含む）
	B 病理、症候	b 感染・炎症性疾患（脳炎、髄膜炎、脊髄炎、ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉による神経障害を含む）
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	c 変性ならびに脱髄疾患（Parkinson病とその関連疾患、脊髄小脳変性症〈SCD〉、運動ニューロン疾患、認知症、多発性硬化症〈MS〉）
	D リハビリテーション	d 外傷（外傷性脳損傷〈TBI〉、脊髄損傷）
	E その他の治療	e 腫瘍 f てんかん g 視覚・聴覚障害
9 末梢神経・筋の障害と臨床医学	A 疫学、予後	a 末梢神経・筋疾患（多発性ニューロパチー、筋ジストロフィー等）
	B 病理、症候	b 外傷（絞扼性神経障害を含む）
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	c 腫瘍
	D リハビリテーション	
	E その他の治療	
10 小児の障害と臨床医学	A 保健、疫学	a 脳性麻痺
	B 病理、症候	b 水頭症（Arnold-Chiari奇形等）
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	c 二分脊椎 d 悪性腫瘍
	D リハビリテーション	e 遺伝子病、染色体異常、系統疾患（先天奇形、Down症候群を含む）
	E その他の治療	
11 内部障害と臨床医学	A 疫学、予後	a 呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉、間質性肺炎、誤嚥性肺炎等）
	B 病理、症候	b 循環器疾患（心臓疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患）
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	c 消化管・肝胆膵疾患
	D リハビリテーション	d 腎・泌尿器疾患（慢性腎臓病等）
	E その他の治療	e 生殖器疾患 f 血液疾患、自己免疫疾患 g 内分泌・代謝疾患（糖尿病、栄養障害、サルコペニアを含む）
		注：それぞれの疾患には感染症を含む

II 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

大項目	中項目	小項目
12 がん関連障害と臨床医学	A 疫学、予後	a 脳腫瘍
	B 病理、症候	b 脊髄腫瘍
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	A c 呼吸器・胸郭内腫瘍
		↳ d 骨腫瘍
	E e 女性器の腫瘍	
D リハビリテーション（リンパ浮腫治療を含む）	↳ f その他（臓器移植後等）	
E その他の治療（緩和ケアを含む）	共通	
13 老年期障害と臨床医学	A 疫学、予後	a 老年症候群および虚弱
	B 病理、症候	b 認知症
	C 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断	A c うつ状態
		↳ d 末梢循環障害
	E e 誤嚥性肺炎	
D リハビリテーション	↳ f 骨粗鬆症、骨折	
E その他の治療	共通	
		g せん妄
		h 摂食・嚥下障害
		i ターミナルケア

Ⅲ 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

大項目	中項目	小項目
1 保健医療福祉	A 医療	<ul style="list-style-type: none"> a インフォームドコンセント b 安全管理（インシデント、感染対策等） c 個人情報保護 d チーム医療、連携医療 e 医療面接 f EBM（根拠に基づいた医療） g 医療の供給体制（一次・二次・三次医療、救急・災害・へき地医療、地域医療）
	B 保健	<ul style="list-style-type: none"> a 保健予防概念（一次・二次・三次予防） b 健康管理、健康増進 c 環境保健 d 地域保健 e 母子保健 f 学校保健 g 産業保健 h 高齢者保健 i 精神保健 j 感染症対策（届出、予防を含む）
	C 医療・福祉制度	<ul style="list-style-type: none"> a 医療保険制度 b 公的扶助制度 c 介護保険制度
	D 関連法規	<ul style="list-style-type: none"> a 医事法規 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療法 ② 理学療法士及び作業療法士法 b 保健衛生法規 <ul style="list-style-type: none"> ① 地域保健法 ② 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 ③ 高齢者の医療の確保に関する法律 c 福祉関係法規 <ul style="list-style-type: none"> ① 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉 ② 児童福祉法 ③ 身体障害者福祉法 ④ 知的障害者福祉法 ⑤ 老人福祉法 ⑥ 障害者の雇用の促進等に関する法律〈障害者雇用促進法〉 ⑦ 発達障害者支援法

Ⅲ 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

大項目	中項目	小項目
2 リハビリテーション 概論	A 理念	a リハビリテーションの定義・歴史
		b ノーマライゼーション
		c 自立生活〈independent living、IL〉
		d QOL〈quality of life〉
		e 総合リハビリテーション
	B 疾病・生活機能の概 念と分類	a 国際疾病分類〈International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems、ICD〉
		b 国際生活機能分類〈International Classification of Functioning, Disability and Health、ICF〉
	C 患者・障害者の心 理・社会的側面	a 患者・障害者心理
		b 障害受容
		c 心理教育（患者教育、家族教室）
		d 社会参加を支える法制度（障害者の権利に関する条約 〈Convention on the Rights of Persons with Disabilities、障害者権利条約〉、障害者基本法、障害を 理由とする差別の解消の推進に関する法律〈障害者差別 解消法〉）
	D リハビリテーショ ンの進め方	a リハビリテーション関連職種とその役割
		b チームアプローチ
		c 評価会議とゴール設定
		d リハビリテーションプログラム、クリニカルパス
	E リハビリテーショ ンの諸相	a 医学的リハビリテーション
		b 教育的リハビリテーション
		c 職業的リハビリテーション
		d 社会的リハビリテーション
		e 地域リハビリテーション

専門分野 (理学療法)

I 基礎理学療法学

大項目	中項目	小項目
1 理学療法の基本	A 歴史、現状	a 日本と世界の理学療法
	B 生命・医療倫理	a プロフェッショナリズム
		b ノーマライゼーション
		c インフォームドコンセント
		d 個人情報保護
	C 法規、関連制度	a 理学療法士及び作業療法士法
		b 医療保険制度
		c 介護保険制度
	D 疾病・生活機能の概念と分類	a 国際疾病分類〈International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems、ICD〉
		b 国際生活機能分類〈International Classification of Functioning, Disability and Health、ICF〉
E 臨床疫学		
F 医療統計	a 記述統計	
	b 感度、特異度	
G エビデンスに基づく理学療法		
H 診療ガイドライン	a 推奨グレード	
I 過程	a スクリーニング	
	b 評価	
	c 治療計画	
	d 治療介入	
	e 効果判定	
	f 記録、報告	
2 理学療法の範囲	A 領域	a 保健、医療、福祉
	B 急性期	
	C 回復期	
	D 維持期	
	E 終末期	
	F 健康維持、健康増進	
	G 予防	a 疾病予防
		b 再発予防
		c 障害予防
	H 管理、運営	a 理学療法部門の管理運営
b 安全管理（インシデント、感染対策等）		
c 情報管理（診療録管理、個人情報保護等）		
I 研究、教育		
3 理学療法学の基礎	A 組織	a 細胞、遺伝子
	B 運動発現	a 運動の発現機構
		b 関節構造、関節可動域
c 筋収縮、筋機能		

I 基礎理学療法学

大項目	中項目	小項目
3 理学療法学の基礎	C 運動制御	a 運動の制御機構
		b 随意運動のメカニズム
		c 中枢神経系
		d 末梢神経系
	D エネルギー供給	a 呼吸
		b 循環
		c 代謝
		d 消化、吸収
	E 認知	a 感覚、知覚
		b 認知
	F 情緒、心理	a 意欲
		b ライフサイクル
		c 障害受容
	G 基本動作	
	H 歩行	
	I 動作障害	
	J 運動学習	a 運動学習理論
		b 条件付け、フィードバック
		c 可塑性、再組織化
	K 痛み	a 分類
b メカニズム		
c 制御機構		
L 疲労	a 末梢性疲労	
	b 中枢性疲労	
M 発達	a 正常発達	
	b 運動・精神の発達遅滞	
N 加齢	a 生理的変化	
	b 社会的変化	
O コミュニケーション		
P 活動、参加	a 日常生活活動〈ADL〉、生活関連活動〈IADL〉	
	b 参加	
Q QOL〈quality of life〉	a 健康関連QOL〈HRQOL〉 等	
R 環境	a 環境の構造	
	b 環境と個体	

Ⅱ 理学療法評価学

大項目	中項目	小項目
1 目的	A 評価の目的	
2 時期と手順	A スクリーニング	
	B 初期・中期・最終	
	C 情報収集	a 検査・画像所見等
	D 評価計画の立案と説明	
	E 評価の実施	a 観察
		b 面接
		c 検査
		d 測定
F 解釈、統合		
G 問題点・利点の抽出		
H 目標設定		
3 心身機能、身体構造	A 全身状態、局所所見	a 意識、覚醒
		b バイタルサイン
		c 栄養状態
		d 皮膚（褥瘡を含む）
		e 排尿、排便
		f 浮腫
		g 摂食・嚥下
	B 呼吸、循環、代謝	a 呼吸機能
		b 循環機能
		c 全身持久力
		d 酸素・エネルギー供給
		e 代謝機能
	C 運動	a 反射
		b 身体計測（四肢長、周径）
		c 関節可動域
		d 筋力
e 持久力（局所、全身）		
f 協調機能		
g 平衡機能		
h 脳神経（運動系）		
D 歩行・運動パターン		
E 感覚	a 体性感覚（表在感覚、深部感覚）	
	b 特殊感覚	
	c 脳神経（感覚系）	
F 痛み	a 痛みの分類	

Ⅱ 理学療法評価学

大項目	中項目	小項目	
3 心身機能、身体構造	G 発達	a 全般的発達検査（改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査〈JDDST-R〉、遠城寺式乳幼児分析的発達検査、子どもの能力低下評価法〈PEDI〉等）	
		b 姿勢反射	
		c 粗大運動能力尺度〈gross motor function measure、GMFM〉、粗大運動能力分類システム〈gross motor function classification system、GMFCS〉	
	H 高次脳機能	a 感情	
		b 注意	
		c 記憶	
		d 認知、行為、コミュニケーション	
		e 遂行機能、前頭葉機能	
	4 活動、参加	A 基本動作	a 起居、移乗、移動
		B 歩行	
C 日常生活活動〈ADL〉		a 食事	
		b 排泄	
		c 更衣	
		d 整容	
		e 入浴	
		f コミュニケーション	
		g ADL検査（FIM、Barthel index等）	
h 生活関連活動〈IADL〉			
D 参加	a 職業		
	b 社会交流		
5 背景因子等	A 個人因子		
	B 環境因子	a 家族、家庭	
		b 住環境	
		c 地域環境	
		d 職場環境	
	C QOL〈quality of life〉		
6 義肢、装具等	A 義肢、装具等	a 義肢（義手、義足）	
		b 装具（上肢、下肢、体幹）	
		c 車椅子、座位保持装置	
		d 移乗機器	
		e 歩行補助具	
		f 適合評価	

Ⅱ 理学療法評価学

大項目	中項目	小項目	
7 疾患、障害	A 骨関節	a 変形性関節症	
		b 骨折、脱臼、靭帯損傷	
		c 関節リウマチとその近縁疾患	
		d スポーツ外傷・障害	
		e 外傷、障害	
		f 脊椎疾患	
		g 腰痛症	
		h 切断（先天奇形を含む）	
		i 肩関節周囲炎、腱板損傷	
		j 骨壊死性疾患（大腿骨頭壊死を含む）	
		k 骨形成不全	
		B 中枢神経	a 脳血管障害（片麻痺を含む）
			b Parkinson病とその関連疾患
	c 脊髄小脳変性症〈SCD〉		
	d 筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉		
	e 多発性硬化症〈MS〉		
	f 外傷性脳損傷〈TBI〉		
	g 脊髄損傷（頸髄損傷を含む）		
	h 脳腫瘍		
	C 末梢神経、筋	a 筋ジストロフィー	
		b 多発性筋炎、皮膚筋炎	
		c 重症筋無力症	
		d ニューロパチー（Guillain-Barré症候群を含む）	
		e 末梢神経損傷（腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む）	
	D 発達	a 脳性麻痺	
		b 二分脊椎	
		c 運動発達遅滞	
		d Down症候群	
		e 骨系統疾患	
	E 呼吸器	a 急性呼吸不全	
		b 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉	
	F 循環器	a 虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）	
		b 閉塞性動脈硬化症	
c Raynaud症候群			
G 代謝	a 糖尿病		
	b 肥満		
	c 慢性腎臓病		
H 感覚器	a 視覚障害		
	b 聴覚・前庭障害		
I 廃用症候群			
J 悪性腫瘍			

Ⅱ 理学療法評価学

大項目	中項目	小項目
7 疾患、障害	K 認知障害	a 認知症
		b 高次脳機能障害（失語、失行、失認等）
	L 有痛性疾患・障害	a 急性痛
		b 慢性痛
	M 熱傷	
N その他の疾患・障害	a 摂食・嚥下障害	
	b 排尿障害	
	c 褥瘡	
	d 精神科疾患	
	e 産科・婦人科領域の疾患	
8 保健、予防	A 健康維持、健康増進	
	B 産業理学療法	

Ⅲ 理学療法治療学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 目的	
	B リスク管理	a 疾患別
		b 病期別
		c ライフステージ別
		d 褥瘡の予防と治療
		e 転倒の予防と治療
		f 救急措置
2 基本介入手段	A 運動療法	a 全身調整運動
		b 関節可動域運動
		c 筋力増強運動
		d ストレッチング
		e 筋再教育
		f 筋持久力
		g 全身持久力
		h 感覚・知覚再教育
		i 協調運動
		j バランス練習
		k 基本動作練習
		l 歩行練習
		m 痛みに対する運動療法
		n 運動学習
		o 発達障害に対する運動療法
		p 各種の治療手技
		B 物理療法
	b 電気刺激療法	
	c 電磁波療法	
	d 光線療法	
	e 超音波療法	
	f 水治療法	
	g 牽引療法	
	h マッサージ	
	C 義肢、装具等を用いる療法	a 義肢（義手、義足）
		b 装具（上肢、下肢、体幹）
		c 車椅子、座位保持装置
		d 移乗機器
		e 歩行補助具
		f 適合技術

Ⅲ 理学療法治療学

大項目	中項目	小項目
3 心身機能、身体構造	A 全身状態、局所所見	a 意識、覚醒
		b バイタルサイン
		c 栄養状態
		d 皮膚（褥瘡を含む）
		e 排尿、排便
		f 浮腫
		g 摂食・嚥下
	B 呼吸、循環、代謝	a 呼吸機能
		b 循環機能
		c 全身持久力
		d 酸素・エネルギー供給
		e 代謝機能
	C 運動	a 関節可動域
		b 筋力
		c 持久力（局所、全身）
		d 協調機能
		e 平衡機能
		f 脳神経（運動系）
	D 歩行・運動パターン	
	E 感覚	a 体性感覚（表在感覚、深部感覚）
		b 特殊感覚
		c 脳神経（感覚系）
	F 痛み	a 急性痛
		b 慢性痛
c 包括的アプローチ		
G 発達	a 運動発達	
	b 通学・通級支援	
H 高次脳機能	a 感情	
	b 注意	
	c 記憶	
	d 認知、行為、コミュニケーション	
	e 遂行機能、前頭葉機能	
4 活動、参加	A 基本動作	a 起居、移乗、移動
	B 歩行	
	C 日常生活活動〈ADL〉	a 食事
		b 排泄
		c 更衣
		d 整容
		e 入浴
f コミュニケーション		
g 生活関連活動〈IADL〉		

Ⅲ 理学療法治療学

大項目	中項目	小項目				
4 活動、参加	D 参加	a 職業 b 社会交流				
5 背景因子等	A 個人因子					
	B 環境因子	a 家族、家庭 b 住環境 c 地域環境 d 職場環境				
	C QOL (quality of life)					
6 疾患、障害	A 骨関節	a 変形性関節症 b 骨折、脱臼、靭帯損傷 c 関節リウマチとその近縁疾患 d スポーツ外傷・障害 e 外傷、障害 f 脊椎疾患 g 腰痛症 h 切断（先天奇形を含む） i 肩関節周囲炎、腱板損傷 j 骨壊死性疾患（大腿骨頭壊死を含む） k 骨形成不全				
		B 中枢神経	a 脳血管障害（片麻痺を含む） b Parkinson病とその関連疾患 c 脊髄小脳変性症（SCD） d 筋萎縮性側索硬化症（ALS） e 多発性硬化症（MS） f 外傷性脳損傷（TBI） g 脊髄損傷（頸髄損傷を含む） h 脳腫瘍			
			C 末梢神経、筋	a 筋ジストロフィー b 多発性筋炎、皮膚筋炎 c 重症筋無力症 d ニューロパチー（Guillain-Barré症候群を含む） e 末梢神経損傷（腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む）		
				D 発達	a 脳性麻痺 b 二分脊椎 c 運動発達遅滞 d Down症候群 e 骨系統疾患	
					E 呼吸器	a 急性呼吸不全 b 慢性閉塞性肺疾患（COPD）

Ⅲ 理学療法治療学

大項目	中項目	小項目
6 疾患、障害	F 循環器	a 虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）
		b 閉塞性動脈硬化症
		c Raynaud症候群
	G 代謝	a 糖尿病
		b 肥満
		c 慢性腎臓病
	H 感覚器	a 視覚障害を合併する歩行・生活指導
		b 前庭性めまいに対する運動療法
	I 廃用症候群	
	J 悪性腫瘍	
	K 認知障害	a 認知症
		b 高次脳機能障害（失語、失行、失認等）
	L 有痛性疾患・障害	a 急性痛
		b 慢性痛
M 熱傷		
N その他の疾患・障害	a 摂食・嚥下障害	
	b 排尿障害	
	c 褥瘡	
	d 精神科疾患	
	e 産科・婦人科領域の疾患	
7 保健、予防	A 健康維持、健康増進	
	B 産業理学療法	

IV 地域理学療法学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 地域の概念	a 地域とは
		b 地域における障害者（障害児）・高齢者
	B 法・制度と地域社会	a 関連法規
		b 地域包括ケアシステム
		c 社会資源
		d 国際生活機能分類〈International Classification of Functioning, Disability and Health、ICF〉
		e インフォームドコンセント
		f QOL〈quality of life〉
		g 自立生活〈independent living、IL〉、ノーマライゼーション
	C 地域リハビリテーション	a 歴史
		b 概念と動向
		c リハビリテーションの理念
	D 地域理学療法	a 理念と目的
		b 多職種による協働
		c 地域での連携
		d 病態と病期に応じた評価と治療
		e 訪問理学療法
		f 通所理学療法
		g 施設での理学療法
	E 健康維持、健康増進	
	F 予防	a 疾病予防
b 再発予防		
c 障害予防		
G バリアフリーとユニバーサルデザイン	a 社会環境整備	
	b 住環境整備	
	c 家屋改造	
H 福祉用具	a 福祉用具導入の考え方	
	b 代表的な福祉用具	
	c 自立生活支援機器（環境制御装置等を含む）	
	d スポーツ・レクリエーション用具	
	e IT・ICTの導入と展開	
I 家族への指導	a 家族等への指導支援の目的	
	b 介助・支援方法	

IV 地域理学療法学

大項目	中項目	小項目	
2 評価と支援	A 施設入所者	a 廃用症候群	
	B 在宅（訪問、通所）	b 脳血管障害	
	C 維持期	A c 骨関節障害	
	D 終末期		d 神経障害
			D e 呼吸障害
			(c) f 循環障害
			共 g 悪性腫瘍
			通 h 代謝障害
			i 住環境
			j 生活状況

V 臨床実習

大項目	中項目	小項目
1 実習前準備	A 安全管理	a インシデント、感染対策等
	B 個人情報、情報管理	
	C 事故・過誤の対応	
	D 対人関係技法	
	E 医療面接	
	F インフォームドコンセント	
	G 評価・治療技術	
	H 基本的臨床技能	
2 実習実施内容	A 情報収集	a 他部門、診療録
	B 医学的情報の理解	a 生化学検査
		b 生理検査
		c 画像検査
		d 手術記録
	C 検査、測定	a 理学療法の検査
	D 問題点の抽出	
	E 全体像の把握	
	F 目標の設定	
	G 治療プログラム立案	a 立案、実施
		b プログラム修正
	H 他部門との連携	
	I 記録、報告	a 専門用語
b 症例報告		

専門分野 (作業療法)

I 基礎作業療法学

大項目	中項目	小項目
1 作業療法の基本	A 歴史、現状	a 日本と世界の作業療法
	B 生命・医療倫理	a プロフェッショナリズム
		b ノーマライゼーション
		c インフォームドコンセント
		d 個人情報保護
	C 法規、関連制度	a 理学療法士及び作業療法士法
		b 医療保険制度
		c 介護保険制度
		d 障害者基本法
		e 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉
	D 疾病・生活機能の概念と分類	a 国際疾病分類〈International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems、ICD〉
	b 国際生活機能分類〈International Classification of Functioning, Disability and Health、ICF〉	
E 臨床疫学		
F 医療統計	a 記述統計	
	b 感度、特異度	
G エビデンスに基づく作業療法		
H 診療ガイドライン	a 推奨グレード	
I 過程	a スクリーニング	
	b 評価	
	c 治療計画	
	d 治療介入	
	e 効果判定	
	f 記録、報告	
2 作業療法の範囲	A 領域	a 保健、医療、福祉
		b 身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害、地域
	B 急性期	
	C 回復期	
	D 維持期	
	E 終末期	
	F 健康維持、健康増進	
	G 予防	a 疾病予防
		b 再発予防
		c 障害予防
	H 管理、運営	a 作業療法部門の管理運営
		b 安全管理（インシデント、感染対策等）
		c 情報管理（診療録管理、個人情報保護等）

I 基礎作業療法学

大項目	中項目	小項目
2 作業療法の範囲	I 研究、教育	a 作業の研究
		b 作業療法の研究（作業療法のエビデンスを含む）
		c 養成教育と生涯教育
3 作業療法学の基礎	A 作業の分類	a 日常生活活動〈ADL〉
		b 生活関連活動〈IADL〉
		c 仕事、生産的活動
		d 余暇活動、遊び
	B 作業遂行要因	a 身体機能
		b 感覚、知覚、認知
		c 情緒、感情、心理
		d 意志、価値、興味
		e 役割、習慣
	C 作業の分析	a 作業特性
		b 作業過程
		c 環境

Ⅱ 作業療法評価学

大項目	中項目	小項目
1 目的	A 評価の目的	
2 時期と手順	A スクリーニング	
	B 初期・中期・最終	
	C 情報収集	a 検査・画像所見等
	D 評価計画の立案と説明	
	E 評価の実施	a 観察
		b 面接
		c 検査
		d 測定
F 解釈、統合		
G 問題点・利点の抽出		
H 目標設定		
3 心身機能、身体構造	A 全身状態、局所所見	a 意識、覚醒
		b バイタルサイン
		c 栄養状態
		d 皮膚（褥瘡を含む）
		e 排尿、排便
		f 浮腫
	B 呼吸、循環、代謝	a 呼吸機能
		b 循環機能
		c 代謝機能
		d 全身持久力
	C 摂食・嚥下	
	D 運動	a 反射
		b 身体計測
		c 関節可動域、変形等
		d 筋力
		e 持久力（局所、全身）
		f 協調性
		g 巧緻性
		h 平衡機能
		i 脳神経（運動系）
		j 上肢の総合的機能
	E 感覚	a 体性感覚（表在感覚、深部感覚）
		b 特殊感覚
c 脳神経（感覚系）		
F 痛み	a 痛みの分類	

Ⅱ 作業療法評価学

大項目	中項目	小項目
3 心身機能、身体構造	G 発達	a 全般的発達（改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査〈JDDST-R〉、遠城寺式乳幼児分析的発達検査、子どもの能力低下評価法〈PEDI〉等）
		b 運動発達
		c 感覚、知覚、認知
		d 心理・社会的発達
	H 高次脳機能	a 感情
		b 注意
		c 記憶
		d 認知
		e 行為
		f コミュニケーション
g 遂行機能、前頭葉機能		
I 精神・心理		
4 活動、参加	A 基本動作	a 起居、移乗、移動
	B 日常生活活動〈ADL〉	a 食事
		b 排泄
		c 更衣
		d 整容
		e 入浴
		f コミュニケーション
		g ADL検査（FIM、Barthel index等）
	C 生活関連活動〈IADL〉	a 家事、交通機関の利用等
	D 余暇活動、遊び	
	E 職業関連活動	a 職業前評価
		b 職業能力評価
	F 参加	a 対人技能
b 集団技能、交流技能		
c 役割		
d 子どもの作業の発達促進		
e 家庭・地域での生活支援		
5 背景因子等	A 個人因子	a 生活歴、作業歴
		b 興味、価値観
		c 作業機能自己評価
		d 生活時間

Ⅱ 作業療法評価学

大項目	中項目	小項目		
5 背景因子等	B 環境因子	a 家族、家庭		
		b 住環境		
		c 地域環境		
d 職場環境				
	C QOL (quality of life)			
6 福祉用具、義肢、装具	A 義肢、装具	a 義肢（義手、義足）		
		b 装具（上肢、体幹、下肢装具）		
	B 自助具、福祉用具	a 自助具		
		b 福祉用具		
7 疾患、障害	A 精神・心理	a 器質性精神障害（症状性を含む）		
		b 精神作用物質使用による精神および行動の障害		
		c 統合失調症、統合失調症様障害および妄想性障害		
		d 気分障害（感情障害）		
		e 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害		
		f 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群		
		g 成人のパーソナリティ（人格）及び行動の障害		
		h 精神遅滞（知的障害）		
		i 心理的発達障害（特異的発達障害、広汎性発達障害）		
		j 小児期および青年期に通常発症する行動および情動の障害（注意欠如・多動性障害を含む）		
		k てんかん		
			B 認知障害	a 認知症（BPSD (Behavioral and Psychological symptoms of Dementia) を含む）
				b 高次脳機能障害（失語、失行、失認等）
		C 骨関節	a 変形性関節症	
			b 骨折、脱臼、靭帯損傷	
			c 関節リウマチとその近縁疾患	
			d 外傷、障害	
			e 切断（先天奇形を含む）	
			f 骨形成不全	
		D 中枢神経	a 脳血管障害（片麻痺を含む）	
			b Parkinson病とその関連疾患	
			c 脊髄小脳変性症（SCD）	
			d 筋萎縮性側索硬化症（ALS）	
			e 多発性硬化症（MS）	
			f 外傷性脳損傷（TBI）	
			g 脊髄損傷（頸髄損傷を含む）	

Ⅱ 作業療法評価学

大項目	中項目	小項目
7 疾患、障害	E 末梢神経、筋	a 筋ジストロフィー
		b 多発性筋炎、皮膚筋炎
		c 重症筋無力症
		d ニューロパチー（Guillain-Barré症候群を含む）
		e 末梢神経損傷（腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む）
	F 発達	a 脳性麻痺
		b 二分脊椎
		c 運動発達遅滞
		d 重症心身障害
		e Down症候群
		f 精神・心理的発達の障害（特異的発達障害、広汎性発達障害、注意欠如・多動性障害を含む）
	G 呼吸、循環、代謝	a 慢性閉塞性肺疾患（COPD）
		b 虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）
		c 糖尿病
d 腎機能障害		
H 感覚器	a 視覚障害	
	b 聴覚・前庭障害	
I 廃用症候群		
J 悪性腫瘍		
K 熱傷		
L その他の疾患・障害	a 有痛性疾患・障害	
8 保健、予防	A 健康維持、健康増進	
	B 産業作業療法	

Ⅲ 作業療法治療学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 目的	
	B リスク管理	a 疾患別
		b 病期別
		c ライフステージ別（転倒予防を含む）
d 褥瘡の予防と治療		
2 心身機能、身体構造	A 全身状態、局所所見	a 意識、覚醒
		b バイタルサイン
		c 栄養状態
		d 皮膚（褥瘡を含む）
		e 排尿、排便
		f 浮腫
	B 呼吸、循環、代謝	a 呼吸系、循環系
		b 全身調整、全身持久力
	C 摂食・嚥下	
	D 運動	a ポジショニング
		b 関節運動、関節保護法
		c 神経・筋再教育
		d 筋力、筋持久力
		e 協調性
		f 巧緻性
		g バランス
		h 上肢の総合的機能
	E 感覚	a 表在感覚・知覚
		b 深部感覚・知覚
		c 複合感覚・知覚
		d その他（脳神経の感覚系を含む）
	F 痛み	a 急性痛
		b 慢性痛
	G 発達	a 姿勢・運動発達
		b 感覚・知覚・認知の発達
		c 心理・社会的発達
	H 高次脳機能	a 感情
		b 注意
		c 記憶
		d 認知
		e 行為
		f コミュニケーション
		g 遂行機能、前頭葉機能
	I 精神・心理	a 治療的態度、関わり方
		b 時間、頻度
		c 場所

Ⅲ 作業療法治療学

大項目	中項目	小項目	
3 活動、参加	A 基本動作	a 起居、移乗、移動	
	B 日常生活活動〈ADL〉	a 食事	
		b 排泄	
		c 更衣	
		d 整容	
		e 入浴	
		f コミュニケーション	
C 生活関連活動〈IADL〉	a 家事、交通機関の利用等		
D 余暇活動、遊び			
E 職業関連活動			
F 参加	a 対人技能		
	b 集団技能、交流技能		
	c 役割		
4 背景因子等	A 個人因子	a 生活時間	
	B 環境因子	a 家族、家庭	
		b 住環境	
		c 地域環境	
d 職場環境			
C QOL〈quality of life〉			
5 義肢、装具	A 義肢、装具	a 義手	
		b 装具（上肢、体幹、下肢装具）	
6 疾患、障害	A 精神・心理	a 症状性を含む器質性精神障害	
		b 精神作用物質使用による精神および行動の障害	
		c 統合失調症、統合失調症様障害および妄想性障害	
		d 気分障害〈感情障害〉	
		e 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	
		f 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	
		g 成人のパーソナリティ〈人格〉及び行動の障害	
		h 精神遅滞（知的障害）	
		i 心理的発達障害（特異的発達障害、広汎性発達障害）	
		j 小児期および青年期に通常発症する行動および情動の障害（注意欠如・多動性障害を含む）	
		k てんかん	
		B 認知障害	a 認知症（BPSD〈Behavioral and Psychological symptoms of Dementia〉を含む）
		b 高次脳機能障害（失語、失行、失認等）	

Ⅲ 作業療法治療学

大項目	中項目	小項目
6 疾患、障害	C 骨関節	a 変形性関節症
		b 骨折、脱臼、靭帯損傷
		c 関節リウマチとその近縁疾患
		d 外傷、障害
		e 切断（先天奇形を含む）
		f 骨形成不全
	D 中枢神経	a 脳血管障害（片麻痺を含む）
		b Parkinson病とその関連疾患
		c 脊髄小脳変性症〈SCD〉
		d 筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉
		e 多発性硬化症〈MS〉
		f 外傷性脳損傷〈TBI〉
		g 脊髄損傷（頸髄損傷を含む）
	E 末梢神経、筋	a 筋ジストロフィー
		b 多発性筋炎、皮膚筋炎
		c 重症筋無力症
		d ニューロパチー（Guillain-Barré症候群を含む）
		e 末梢神経損傷（腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む）
	F 発達	a 脳性麻痺
b 二分脊椎		
c 運動発達遅滞		
d 重症心身障害		
e Down症候群		
G 呼吸、循環、代謝	a 慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉	
	b 虚血性心疾患（心筋梗塞、狭心症）	
	c 糖尿病	
	d 腎機能障害	
H 感覚器	a 視覚障害	
	b 聴覚・前庭障害	
I 廃用症候群		
J 悪性腫瘍		
K 熱傷		
L その他の疾患・障害	a 有痛性疾患・障害	
7 保健、予防	A 健康維持、健康増進	
	B 産業作業療法	

IV 地域作業療法学

大項目	中項目	小項目
1 基礎	A 基礎概念	a 地域とは
		b 地域における障害者（障害児）・高齢者
	B 関連法規、制度	a 障害者基本法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）
		b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）
		c 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）
		d 社会福祉制度
		e 介護保険制度
		f 社会資源
	C 地域リハビリテーション	a 歴史
		b 概念と動向
		c リハビリテーションの理念
	D 地域作業療法	a 理念と目的
		b 多職種による連携
		c 訪問作業療法
		d 通所作業療法
		e 施設における作業療法
		f 生活スタイルの見直しと再構築
		g 趣味・生き甲斐活動の開発と獲得
		h 仲間づくり
		i 相談、指導
j 家族関係の調整		
k QOL（quality of life）の維持・向上		
l 家族への介護指導		
E 健康維持、健康増進		
F 予防	a 疾病予防	
	b 再発予防	
	c 障害予防	
G バリアフリーとユニバーサルデザイン	a 住環境整備	
	b 家屋改造	
	c 社会的環境整備の働きかけ	
H 福祉用具	a 福祉用具の種類と目的	
	b 福祉用具の選択と適応	
	c 自立生活支援機器（環境制御装置を含む）	
	d スポーツ・レクリエーション用具	
	e IT・ICTの導入と展開	
2 評価と支援	A 家庭生活支援	a 活動の維持、再構築
		b 介護指導
		c 障害児の子育て支援

IV 地域作業療法学

大項目	中項目	小項目	
2 評価と支援	B 地域生活支援	a 生活の支援	
		b 地域生活の支援	
		c 小児通園施設の支援	
	C 就園・就学支援	a 統合保育の支援	
		b 特別支援教育の支援	
	D 雇用・就労支援	a 就労継続支援	
		b 就労移行支援	
	E 環境整備	a 生活環境、就労環境	
	F 福祉用具の適応	a 生活環境、就労環境	
	G 施設入所者	a 廃用症候群	
	H 在宅（訪問、通所）	b 脳血管障害	
	I 維持期	G S J に 共 通	c 骨関節疾患
	J 終末期		d 神経障害
e 呼吸障害			
	f 循環障害		
	g 悪性腫瘍		
	h 代謝障害		
	i 住環境		
	j 生活状況		

V 臨床実習

大項目	中項目	小項目
1 実習前準備	A 安全管理	a インシデント、感染対策等
	B 個人情報、情報管理	
	C 事故・過誤の対応	
	D 対人関係技法	
	E 医療面接	
	F インフォームドコンセント	
	G 評価・治療技術	
	H 基本的臨床技能	
2 実習実施内容	A 情報収集	a 他部門、診療録
	B 医学的情報の理解	a 生化学検査
		b 生理検査
		c 画像検査
		d 手術記録
	C 検査、測定	a 作業療法の検査
	D 問題点の抽出	
	E 全体像の把握	
	F 目標の設定	
	G 治療プログラム立案	a 立案、実施
		b プログラム修正
H 他部門との連携		
I 記録、報告	a 専門用語	
	b 症例報告	